

2016年9月

－救命処置（心肺蘇生法）のガイドラインについて－

小坂井 FC では、子供たちの命を守るために、救命処置に関するガイドラインを策定し、FC 活動中に起こった心肺停止時には、ガイドラインに沿って、迅速な対応を行うこととする。

【応急処置の仕方】 ※別添資料も参照

■心配蘇生法

事故などにより傷病者が心肺停止状態になった場合、現場に居合わせた人は、救急車が来るまでに、速やかに心肺蘇生などを行う必要があります。心肺蘇生法は、次の手順で行います。

- 1.周囲の安全を確認する。
- 2.傷病者に近づき、反応（意識）を確認する。



- 3.傷病者に反応がなければ、大声で叫び応援を呼ぶ。
- 4.119 番通報および AED を現場に届けてもらうよう協力を求める。
- 5.呼吸を見る。（胸と腹の動きをしっかりとみてください。呼吸の確認は 10 秒以上か

けないようにしてください。)



6.胸骨圧迫を 30 回。



7.人工呼吸 2 回。(どうしても人工呼吸を行うことができなければ省略可)



8.心臓マッサージ 30 回。



9.上記 6.7 を絶え間なく続けてください。

【AEDの使い方】※別添資料も参照

1.電源を入れる。



2.パッドを貼る。

パッドを貼る場所は、パッドに図で表示されているので、それにしたがって患者に貼り付けましょう。貼り付けるときは、皮膚が濡れていないか、貼り薬がないか、医療器具が胸に埋め込まれていないかなどを確認しましょう。



3.コネクターを指定された場所に差し込む。

機械が心電図を解析し、電気ショックが必要な場合は、自動的に充電します。

4.放電ボタンを押す。

充電が完了すると、「放電してください。」などの音声メッセージが流れるので、それにしたがって、放電ボタンを押しましょう。このとき、必ず自分と周りの人も離れ、傷病者に触れないようにしましょう。

【AED の設置場所】

※学校に先生がない場合は、ガラス窓を破壊して、AED を取りに行く。

■東小学校（職員室内）



■西小学校（職員室内）



■ サックス（入口左側）※新池公園 G を使用時



※サックスの店員に声を掛けて、AED を新池公園 G に持って行く。



こんな場合は？

① 電極パッドを貼るとき

● 傷病者の胸が濡れている場合

濡れている場合は、タオル等でふき取ってから電極パッドを貼ります。

● 胸に貼り薬があり、電極パッドを貼る際に邪魔になる場合

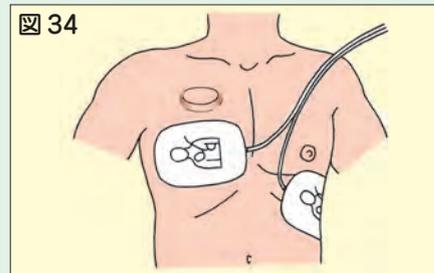
胸に貼る薬で、電極パッドを貼る際に邪魔になるものとして、ニトログリセリン製剤や喘息薬ぜんそくなどがあります。これらの薬が貼られている場合は、それをはがして、肌に残った薬剤をふき取ってから電極パッドを貼ります。

● 心臓ペースメーカーや除細動器が胸に植込まれている場合

胸の皮膚が盛り上がり、下に固いものが触れるのでわかります。電極パッドを貼る位置に心臓ペースメーカーや除細動器の出っ張りがあるときは、そこを避けて電極パッドを貼ります。



濡れている胸をふき取る



心臓ペースメーカーなどが植込まれている場合

② 電気ショックの適応がない場合

心電図解析の後“ショックは不要です。ただちに胸骨圧迫を開始してください”などの音声メッセージが出たら、電気ショックが必要のない状態です。この場合には、メッセージに従ってただちに胸骨圧迫から心肺蘇生を再開します。

心肺蘇生を再開して2分ほど経ったら、自動的にAEDが心電図の解析を行いますので、AEDの音声メッセージに従ってください。

③ AEDのメッセージとテキストの手順が異なる場合

AEDの機種によっては、このテキストの手順と異なる音声メッセージが流れるものがあります。その場合には、その機種のメッセージに従ってください。

最新の機種のアEDでは、このテキストの手順に沿ったプログラムになっています。すなわち、心電図を解析して必要なときは電気ショックを1回だけ行い、ただちに胸骨圧迫と人工呼吸を行うよう指示して、その後は約2分おきに心電図の解析を行う手順となっています。

これに対し、すでに普及している古い機種の一部には、このテキストの手順と異なるプログラムのものがあります。すなわち、心電図を解析して必要なときは電気ショックを行いますが、引き続いて心電図の解析と電気ショックを繰り返し、必要があれば連続して最大3回の電気ショックを行う（その後に胸骨圧迫と人工呼吸に移る）手順のものです。

今後は次第に新しい機種のアEDが普及していくものと思われますが、もし、古い機種のアEDに出会った場合には、そのAEDの指示する音声メッセージと点滅ランプに従って電気ショックを行ってください。このような機種でも効果は十分にあります。機種や手順にいくらかの違いがあっても、大切なことはその機種のメッセージに従って、電気ショックを行うことです。